



平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <http://www.maruchan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堤 殷

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 及川 雅晴

TEL 03-3458-5035

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	74,333	1.4	6,396	7.3	6,746	8.3	3,688	7.9
23年3月期第1四半期	73,321	4.8	6,900	17.2	7,355	16.0	4,004	22.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2,702百万円 (66.1%) 23年3月期第1四半期 1,626百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	36.11	
23年3月期第1四半期	39.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	231,008	174,732	71.4
23年3月期	232,532	172,807	70.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 164,877百万円 23年3月期 163,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		20.00		20.00	40.00
24年3月期					
24年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	148,000	1.1	9,300	25.3	10,000	23.8	5,500	23.3	53.83
通期	312,000	2.0	24,000	7.0	25,000	8.1	14,500	16.8	141.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	110,881,044 株	23年3月期	110,881,044 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

24年3月期1Q	8,710,622 株	23年3月期	8,709,183 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	102,171,348 株	23年3月期1Q	102,183,634 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況にあり、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は74,333百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益は6,396百万円（前年同四半期比7.3%減）、経常利益は6,746百万円（前年同四半期比8.3%減）、四半期純利益は3,688百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の為替換算レートは、80.68円/米ドル（前第1四半期連結累計期間は、88.52円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、震災の影響を受け、生食商品の需要の減少と価格競争が続きました。また、海老・カニ等は、海外勢の強い買付需要を受け、円高傾向にも関わらず、国内販売の利益を押し下げる要因となりました。このような状況の中、消費者ニーズにこたえる商品開発を行い、当社の得意商品を中心に積極的に販売した結果、売上高は7,410百万円（前年同四半期比8.2%減）、セグメント利益は230百万円（前年同四半期比26.5%増）となりました。

海外即席麺事業は、前年度からの積極的な販売活動により販売数量は大幅に増加いたしました。円高の影響もありましたが、売上高は12,212百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。一方、前年度からの世界的なコモディティ価格の上昇の影響により、主原材料・運賃等のコストが増加し、さらに円高の影響も加わりセグメント利益は996百万円（前年同四半期比52.6%減）となりました。

国内即席麺事業は、主力の和風麺や「麺づくり」が順調に売上を伸ばしました。新製法を採用した「昔ながらのソース焼そば」の売上が好調に推移し、焼そば類全体の実績を牽引しております。また、「でかまる」や「ごつ盛り」に代表される大型カップ麺は、積極的な販促を行い堅実に売上を伸ばしております。袋麺においては、主力の「カレーうどん」「天ぷらそば」の和風袋麺は売上を伸ばしたものの、袋麺全体では前年度を下回る結果となりました。これらの結果、売上高は24,081百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。セグメント利益は、主力品の売上が利益に寄与し、3,463百万円（前年同四半期比25.8%増）となりました。

低温食品事業は、生麺は市場環境が厳しい中、主力品の3食焼そば類に新フレーバーを投入し活性化を図り、加えてキャンペーンを実施したことにより順調に推移しましたが、生ラーメン類・うどん類は苦戦いたしました。冷凍食品類は、外食・産業給食等を中心に震災による影響が残り、主に関東以外のエリアでの業務用冷凍麺・冷凍食品の売上が厳しく、減収となりました。この結果、売上高は16,208百万円（前年同四半期比1.9%減）、セグメント利益は1,088百万円（前年同四半期比16.4%減）となりました。

加工食品事業は、米飯部門が震災の影響を受け減収となりましたが、魚肉ハムソーセージやフリーズドライスープ等の需要が増加し、売上を伸ばしました。この結果、売上高は3,610百万円（前年同四半期比26.2%減）、セグメント利益は112百万円（前年同四半期比51.7%減）となりました。

冷蔵事業は、前年度からの積極的な営業活動により全国的に取り扱い貨物が増加いたしました。震災の影響により東北地方の貨物が各地区に流出したことや、夏の節電対策の影響により取引先が季節商品の備蓄在庫を大幅に増加させたことにより、在庫量・在庫量ともに前年度を上回りました。また、当第1四半期連結会計期間より埼玉東洋(株)、湘南東洋(株)及びスルガ東洋(株)を連結の範囲に含めました。これらの結果、売上高は3,745百万円（前年同四半期比16.1%増）、セグメント利益は359百万円（前年同四半期比71.3%増）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。売上高は7,069百万円（前年同四半期比14.7%増）、セグメント利益は424百万円（前年同四半期比28.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の財政状態は、前連結会計年度と比べ総資産は1,524百万円減少し231,008百万円、純資産は1,925百万円増加し174,732百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に有価証券が増加し、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少しました。負債は、主に未払費用及び短期借入金が増加しました。純資産は、主に利益剰余金が増加し、為替換算調整勘定が減少しました。

この結果、自己資本比率は71.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関する事項につきましては、当第1四半期の業績が想定していた範囲内で推移しているため、平成23年5月13日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,648	32,477
受取手形及び売掛金	39,785	38,650
有価証券	23,000	25,000
商品及び製品	11,965	12,675
仕掛品	192	467
原材料及び貯蔵品	4,010	4,271
繰延税金資産	1,925	1,608
その他	3,719	3,215
貸倒引当金	524	529
流動資産合計	118,724	117,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,478	41,687
機械装置及び運搬具(純額)	22,670	21,660
土地	28,646	28,585
建設仮勘定	332	1,790
その他(純額)	1,371	1,323
有形固定資産合計	95,499	95,046
無形固定資産		
のれん	20	10
その他	1,706	1,702
無形固定資産合計	1,727	1,713
投資その他の資産		
投資有価証券	14,160	13,941
長期貸付金	122	124
繰延税金資産	1,523	1,603
その他	776	740
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	16,581	16,409
固定資産合計	113,808	113,169
資産合計	232,532	231,008

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,904	20,104
短期借入金	1,945	287
1年内返済予定の長期借入金	52	51
未払費用	15,848	13,622
未払法人税等	2,747	1,915
未払事業所税	70	15
未払消費税等	1,104	571
繰延税金負債	0	3
役員賞与引当金	101	76
その他	1,221	2,005
流動負債合計	41,995	38,653
固定負債		
長期借入金	12	-
繰延税金負債	890	831
退職給付引当金	15,051	15,288
役員退職慰労引当金	118	125
負ののれん	526	487
資産除去債務	308	308
その他	823	580
固定負債合計	17,729	17,622
負債合計	59,725	56,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,516	22,516
利益剰余金	144,769	147,665
自己株式	8,111	8,114
株主資本合計	178,143	181,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	432	350
繰延ヘッジ損益	168	46
為替換算調整勘定	14,755	15,763
その他の包括利益累計額合計	15,018	16,160
少数株主持分	9,682	9,855
純資産合計	172,807	174,732
負債純資産合計	232,532	231,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	73,321	74,333
売上原価	45,472	46,994
売上総利益	27,848	27,339
販売費及び一般管理費	20,947	20,942
営業利益	6,900	6,396
営業外収益		
受取利息	34	36
受取配当金	166	143
持分法による投資利益	15	-
賃貸収入	107	106
雑収入	216	147
営業外収益合計	540	434
営業外費用		
支払利息	5	2
賃貸収入原価	16	24
為替差損	27	8
持分法による投資損失	-	0
雑損失	36	49
営業外費用合計	85	84
経常利益	7,355	6,746
特別利益		
固定資産売却益	11	3
貸倒引当金戻入額	24	-
補助金収入	25	-
その他	4	0
特別利益合計	65	4
特別損失		
固定資産除売却損	211	21
投資有価証券評価損	6	146
災害による損失	-	180
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	254	-
その他	38	6
特別損失合計	511	354
税金等調整前四半期純利益	6,910	6,396
法人税、住民税及び事業税	2,201	2,099
法人税等調整額	503	446
法人税等合計	2,704	2,545
少数株主損益調整前四半期純利益	4,205	3,850
少数株主利益	201	161
四半期純利益	4,004	3,688

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,205	3,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	578	71
繰延ヘッジ損益	424	215
為替換算調整勘定	1,564	1,008
持分法適用会社に対する持分相当額	11	3
その他の包括利益合計	2,578	1,148
四半期包括利益	1,626	2,702
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,442	2,546
少数株主に係る四半期包括利益	184	155

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客に 対する売上高	8,072	11,657	22,661	16,517	4,895	3,227	67,032	6,162	73,194	127	73,321
セグメント 利益	182	2,101	2,752	1,301	234	209	6,782	330	7,113	212	6,900

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2 売上高の調整額127百万円は、報告セグメントと財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額 212百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 211百万円、棚卸資産の調整額 60百万円及びその他の調整額59百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客に 対する売上高	7,410	12,212	24,081	16,208	3,610	3,745	67,269	7,069	74,339	5	74,333
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	207		0		0	240	448	132	580	580	
計	7,617	12,212	24,082	16,208	3,610	3,985	67,717	7,201	74,919	585	74,333
セグメント 利益	230	996	3,463	1,088	112	359	6,250	424	6,675	278	6,396

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2 外部顧客に対する売上高の調整額 5百万円は、報告セグメントと財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額 278百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 351百万円、棚卸資産の調整額 22百万円及びその他の調整額95百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価する際、セグメント間の内部売上高又は振替高についても定期的に検討を行うこととしたため、報告セグメントごとの売上高の金額に、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めております。

当該変更後の前第1四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客に 対する売上高	8,072	11,657	22,661	16,517	4,895	3,227	67,032	6,162	73,194	127	73,321
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	205		0		18	270	496	111	607	607	
計	8,277	11,657	22,662	16,517	4,914	3,498	67,528	6,273	73,801	480	73,321
セグメント 利益	182	2,101	2,752	1,301	234	209	6,782	330	7,113	212	6,900

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2 外部顧客に対する売上高の調整額127百万円は、報告セグメントと財務諸表で取引高消去の方法が異なることにより発生した差異であります。セグメント利益の調整額 212百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 211百万円、棚卸資産の調整額 60百万円及びその他の調整額59百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に決算時における海外子会社との取引高消去に伴う為替換算によって生じた換算差額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間より、重要性が増した埼北東洋(株)、湘南東洋(株)及びスルガ東洋(株)を連結の範囲に含めております。この結果、当第1四半期連結会計期間において、連結範囲の変動に伴い利益剰余金が1,251百万円増加しております。